

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」白金高輪校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションで区切り、棲み分けをしています。	運動系の活動をする時に、安全面に配慮していきます。
	②	職員の配置数は適切である	○		複数の指導員が支援に関わるようにしています。	今後も法令を遵守した職員配置をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童の刺激になるものを置かないように環境整備をしています。	安全に支援に取り組める環境であるか、日々のチェックを職員全体で取り組んでいきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		法令を遵守した上で、生活空間を整備しています。	日々の清掃を心掛け、安全に支援に取り組めるよう環境を整備していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々のミーティングで支援の振り返りや予定などを情報共有しています。	業務改善のために、どの職員も自主的に PDCA サイクルに参画できる職場づくりをしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の結果をもとに会議を開き、保護者の意向を把握しました。	今後も保護者の意向を踏まえて、業務改善に努めていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		職員全体で自己評価に取り組み、会議の中で保護者向け評価表と比較・検討しました。	利用者の皆様にホームページで情報発信していることが知られていなかったため、情報発信していることを周知していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	自己評価と利用者からの評価の 2 種類です。	今後は第三者による外部評価を検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修、事例検討会の機会があります。	資質向上のために、積極的に外部研修に参加していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		体験時の様子や保護者との面談、発達検査の結果などをふまえてアセスメントをしています。	今後も適切なアセスメントを行い、ニーズや課題を客観的に分析した支援計画を作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人で定められたアセスメントシートを使用しています。	今後も子どもの適応行動の状況を図るためにアセスメントツールを使用していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		日々の支援の振り返りや職員間のミーティングをもとにサービス担当者会議を開き、支援計画の内容を具体的に設定しています。	個別療育のため「発達支援（本人支援及び移行支援）」が支援計画の主となりますが、可能な限り「地域支援」の内容にも触れていきます。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		指導員は支援計画をもとに支援準備をします。	今後も指導員は支援計画に沿った支援をしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		リーダーを決めて、リーダーを中心に立案します。	個人の手だけに頼らず、職員全体で活動プログラムを立案していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		複数の指導員が個別支援をしています。	支援計画に基づいて、様々な支援に取り組めるようにします。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		月1回程度で小集団療育をしています。	小集団療育で見えた課題を、個別療育に生かしていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前のミーティングで予定を確認しています。	リーダーを中心に情報共有し役割分担をしていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		重要なことはその日のうちに情報共有しています。	振り返りでは全員が発言することで、様々な気づきができるようにしていき、それを日々の支援に生かします。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録はファイリングしています。	今後も支援記録を欠かさないようにします。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		3か月ごとにモニタリングをしています。	モニタリングを通して、本児に適した支援計画であるかを判断していきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参画できない時は、主で関わった指導員が参画しました。	相談支援事業所のサービス担当者会議には、職員の中で最適な者が参画できるようにします。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		利用者の要望に沿って連携しています。	今後も可能な限り、関係機関との連携をしていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	該当なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		直接園へ赴き、支援内容等の情報共有をしています。	今後も可能な限り、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	保護者を通じて、小学校等での様子を情報共有しています。	今後は直接小学校等へ赴く機会を設けて、情報共有と相互理解に努めていきたいと思っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者の協力を得て施設訪問をし、連携しています。	今後も密に連絡を取り合えるようにし、連携体制を整えていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	現状では交流する機会を設けられていません。	可能であれば、交流できる機会を模索していきます。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		区の関係機関連携研修に参加しました。	今後も可能な限り、積極的に参加していきたいと思います。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回支援後の振り返りを通して、共通理解の機会を持っています。	支援後の保護者との振り返りを、発達状況や課題の共通理解の場として大切にしています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	支援後の振り返りや個別面談などで対応しています。	今後はペアレント・トレーニング等を取り入れて、家族支援プログラムの充実を図りたいと思います。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初回支援時の契約の際に説明をしています。	今後も丁寧な説明を心掛け、ご不明な点が無いようにします。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を示しながら内容を説明し、保護者の同意を得ています。	今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、支援計画の作成を行い、保護者に内容説明するとともに同意を得ていきます。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援の振り返りや個別面談で対応しています。	今後も保護者の相談に適切に応じ、情報提供をしていきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現状では保護者同士の連携支援はありません。	保護者のニーズを踏まえて対応していきます。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談・申入れについては迅速に対応する体制を取っており、苦情受付窓口も設置しています。	今後も子どもや保護者からの相談や申入れについては、迅速かつ適切な対応をしていきます。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定等は教室内に掲示しています。	保護者の方にわかる形で掲示していきます。ホームページで情報発信していることも伝えていきます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に関する同意書を交わしています	今後も同意書に基づき、個人情報の取り扱いに気を付けていきます。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚化やカード、メモなどを用いています。	今後もニーズを踏まえて、個別に対応していきます。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現状では行っておりません。	地域に「きらり」のを知ってもらうための広報活動をしていきます。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時に、保護者には緊急時対応について説明をしています。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に防災訓練を行っています。	今後も可能な限り、利用者・保護者に防災訓練に参加してもらいます。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時や振り返り時に確認をしています。	支援時の様子に注意し、急な体調不良を見落とさないようにします。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	支援の中で食事の提供がありません。	支援中にアレルギー症状が出ないとも限らないので気を付けていきます。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内でヒヤリハットを記録しています。	ヒヤリハット事例は必ず記録し、事業所内事故防止のために共有します。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内部研修で虐待防止研修を行いました。	虐待防止研修で学んだことを、日々の事業所運営に生かしていきます。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	虐待防止研修で、やむを得ない場合の身体拘束について、全職員が確認をしました。	やむを得ない身体拘束が想定される場合は、子どもや保護者に説明し了承を得てから、支援計画に記載するようにします。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

職員配布数 4 回答数 4

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」白金高輪校

保護者等数（児童数）24(24) 回収数 11 割合 45.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	3	1	0	少し狭いと思います。	パーティションで法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2	0	1	人によって差が大きいと思います。	指導員間で情報共有し支援に差が出ないよう努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2	1	1	トイレや手洗いはしにくいと思います。	ご意見を真摯に受け止め、対応していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2	0	0	清潔で心地よいが、活動に合っているかは何とも言えない。	清潔で心地よく過ごせる環境設定を心掛け、支援に生かしていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	0	0	0		適切なアセスメントを行い、ニーズや課題を客観的に分析した支援計画を作成します。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	2	指導員の異動が多く残念である。	この件につきましては多くの方からご意見をいただきました。ご意見を真摯に受け止め、今後の事業所運営に生かしていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1	0	0		今後も指導員は支援計画に沿った支援をしていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	2	0	0	ある程度固定化されて慣れることも必要。	児童の特性をみて柔軟に対応をしていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	6	3	今のところは無い。	可能な限りで交流の機会を模索していきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0		今後も丁寧な説明を心掛け、ご不明な点が無いようにします。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	2		児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画の作成を行うとともに、保護者に内容説明し同意を得ていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	1	5	4		今後はペアレント・トレーニング等を取り入れて、家族支援プログラムの充実を図りたいと思います。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1	0	0		支援後の保護者との振り返りを、発達状況や課題の共通理解の場として大切にしていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	3	1	支援後のフィードバックはあるが、個別の面談等はあまりない。	要望にそって保護者の相談に適切に応じ、情報提供をしていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	6	4		保護者のニーズを踏まえて対応していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	0	1	1		今後も子どもや保護者からの相談や申入れについては、迅速かつ適切な対応をしていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	0	0	0		カードやメモ等で視覚化するなど工夫をしていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1	3	5		保護者の方にはわかる形で掲示をしていきます。ホームページで情報発信していることも伝えていきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	0	0	1		今後も個人情報に関する同意書に基づき、個人情報の取扱いに気を付けていきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	2	0	0		緊急時対応については契約時に説明しています。職員は各マニュアルを熟知した上で、訓練を実施しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	2	4		定期的に防災訓練を行い、可能な限り利用者・保護者も訓練に参加しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1	0	1		子どもが楽しく「きらり」へ通えるような事業所運営をしていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7	4	0	0	すぐに結果が出るものではないのでわからない	支援計画に沿って、スモールステップでの支援をしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。